

## 利用者の視点に立った東京の交通戦略推進会議（第1回） 議事概要

### 1. 日時・場所

平成27年7月31日（金）10時00分～11時30分

東京都庁第二本庁舎31階特別会議室22

### 2. 出席者

別紙 参加者名簿のとおり

### 3. 議題

- (1) 推進会議の位置づけと設置目的
- (2) 戦術の策定（ワーキンググループの設置）
- (3) 利用者視点によるわかりやすい目標・指標設定
- (4) 今後の進め方

### 4. 主な発言要旨

〔岸井教授（座長）〕

- ・ 2020年目標なので時間がない。実現に向け予算措置や新たな支援制度等の検討を含め、いつ誰が何をやるのか、スケジュール管理の徹底が必要。モデル的に先行するなど、走りながらやらないと間に合わない。また、オリンピックやオリンピックを契機とした施策の検討も必要。交通に関する関係者の大半が集まっているこの会議で「こういうことをやっていこう」ということが決められたら、一貫性をもって後々矛盾が起きなくて済むかなと思う。
- ・ レジブルロンドンのような仕組みが多分必要だと思うが、それを実現するための戦略的な選定が必要。
- ・ 交通結節点については、鉄道乗換のみならず駅前広場まで巻き込んだサインシステム等だろう。
- ・ 舟運では、早い段階で実験成果を都民に公表し評価してもらうということが必要だろう。道路空間活用では、これからの高齢社会を考えると「道路空間をいかにうまく使って人々が社会に参加するか」ということが極めて大事だと思うので、少し長い目で見てもやるべきことの検討が必要だろう。
- ・ 誰が最後の責任者かということは重要。それぞれのやっていることを一度集めて把握、情報共有することも必要。物を作っていかなければならないので、関

係者合意をとっていくためにも新しい制度的枠組も必要。知事含め前向きな発言があった東京都も各鉄道事業者等も、同じ方向を向いている機運があるので、ここで一気に議論することで新たな枠組みもできるのではと期待。

〔羽藤教授〕

- ・ 基盤をどう整備するかというハードな問題も見据えたうえで、2020年目標としたとき、ひとまずサインをどうにかするということがひとつ大きな目標になるのかなと思う。参考となるのはレジブルロンドン計画である。これによってロンドンの歩き方、感じ方、旅のかたちがすごく変わったと私は感じている。東京で実現していくためのスケジュール、デザインの構築が要点。ロンドンと東京の違いも踏まえ東京ならではの計画が望まれる。マルチモーダルの全てを統一するのは難しくても、ある程度共通の枠組で束ねていけるかがひとつキーかと思う。
- ・ 交通戦略を浸透させるため対象の駅、界限、またどういう単位で整備するのか「戦略的選定」の仕方も重要。
- ・ 実際に進めていく組織形成や、組織を束ね事業推進していく上で、事業進捗や成果を「見える化」し、PDCAを実施することも重要。

〔村木教授〕

- ・ サインをどのぐらいのピッチで設置するのか、どのぐらいの範囲を対象とするのか、検討しなければいけない。情報提供の仕方も大事である。また、日本では英語が通じないことが多いため、ロンドンよりもさらに親切な表示を検討すべき。
- ・ 私もレジブルロンドンは凄いと思っている。ロンドンに行くとサインがあるので、地図を見なくても迷わない。また地形の起伏も記載されているものもあり、高齢者などは起伏のない道も選べる。情報提供の仕方が大事だ。2020年という目標年限があるので「何を、何時まで、どれ位のピッチで、幾つ設置し、その内容は」という具体の内容を早く決めてやっていかないと間に合わない。それが一番気になる。
- ・ シェアサイクルなど自転車利用については、異なる交通が道路空間を一緒に活用することになるので、ルールやマナーのあり方も含めた検討が必要と思う。

〔清水教授〕

- ・ 推進会議と各ワーキングで、不整合が起きないようにうまく連携をとって会議を進めることが必要。

〔東京都都市整備局〕

- ・ 観光客等の案内における「ICT の活用」については、国や東京都も取組んでいる。銀座で社会実験をやってきた情報等も持っているので参考にしてほしい。

〔警視庁〕

- ・ 道路空間活用について、交通管理という面で色々意見を申し上げていきたい。

〔中央区〕

- ・ 個々の開発プロジェクトにおいて、歩行者空間等の整備は進めているが、ネットワーク化は難しいことなので、本検討の中で一つの方向性を打ち出して頂けるのは非常にありがたい。
- ・ ここで検討の対象とする移動手段は、公共交通機関や徒歩、自転車なのか、現状の自動車なのか。また、もう少し先の将来の、移動に対する方向転換を考え方として持った上で検討を進めるのか。中央区としては、銀座で進めているような「歩いて楽しめるまち」を進めていきたいと考えている。

〔八王子市〕

- ・ 交通結節点としては、鉄道駅だけではなく、鉄道駅とバス、バス同士の乗り換え利便性向上についても検討が必要。また、バスの路線網のわかりづらさや到着時刻表示など利用者の視点で、ITの活用も併せた検討が必要。

〔東日本旅客鉄道株式会社〕

- ・ 事業者毎に既に進めている取組との整合性や、新たな整備に伴う負担の問題については、しっかりした議論が必要だ。
- ・ オリンピック・パラリンピックに向けて、国、東京都と色々な会議体で同じようなテーマでの議論がされている。期限もある中なので、何処かが統一して進めていくか、少なくとも相互の関連性を明らかにして欲しい。

〔東京地下鉄株式会社〕

- ・ 近い内容の会議が様々開催されているが、誰かがリーダーシップを取り、一筋の方向に向けて引っ張っていかないと、結局何もできなかったということになりかねない。方向性が合意されれば、その実現に向けて取組を加速していく思いはあるのでよろしく願いたい。

〔日本民営鉄道協会〕

- ・ 交通結節点 WG では、その他の利便性向上策として、連絡ダイヤや運賃の工夫のことが書かれているが、ソフト面も含め検討する予定なのか。検討範囲を広げすぎていないか。
- ・ また、目標値の設定を行うことは良いが、その実現にあたっては事業者側に負担が発生することが想定されるため、それに対する支援スキームの検討も必要ではないかと考えるが、この WG ではどこまで議論するのか。

〔東京バス協会〕

- ・ 今後の外国人来訪者の増加に向けて外国語表記等の検討を進めているが、どこまで路線バスが対応するかも検討が必要と考えている。

〔東京タクシーセンター〕

- ・ 外国人旅行者等が、迷うことなくタクシー乗り場へ移動できるよう、わかりやすいサインになるとよい。

〔国土交通省鉄道局〕

- ・ 交通政策審議会鉄道部会で、今後 15 年間の東京圏の今後の都市鉄道のあり方等の議論をして頂いており、鉄道駅関係では地方公共団体、鉄道事業者等による駅のマネジメントによる持続的な取組推進について検討している。施設整備含めマネジメントの取組を推進するため、財政面だけではなく制度面の見直しも含めた検討を進めていきたいと思っている。

〔国土交通省都市局〕

- ・ 駅まちエリアマネジメント会議等を各駅につくるのであれば、オリンピック・パラリンピックに向けた速攻的な対策だけでなく、その後の抜本的な対策に向

けて、中長期的に議論を引き続き継続していくべきだろう。我々も協力する。

〔事務局〕

- ・ 交通戦略のとりまとめは、平成 28 年秋を目途に、他の動きをにらみながら柔軟に出していきたいと考えている。
- ・ コミュニティバスへの問題意識は、行政界を超えた利用などの取組促進を想定。
- ・ 対象地区の戦略的選定は、現段階では、多摩も含めて 10 程度のイメージ。
- ・ 知事も「ディモータリゼーション」や「成熟社会にあった今までとは少し違う視点の空間の使い方」ということで、歩行者空間や自転車を取上げている。
- ・ ワーキング毎の縦割り検討ではなく横串を刺して、一貫したストーリー性等を意識したい。
- ・ 連絡ダイヤや運賃の利便性向上策に関しては、議論というよりも、参考事例的に示すことができれば、と思っている。
- ・ また、支援策等については、どういったインセンティブあるいは事業制度の活用ができるのかも含めて、議論をしたいと思っている。

(文責 都市整備局都市基盤部交通企画課)

## 利用者の視点に立った東京の交通戦略推進会議（第1回）参加者名簿

	役職名	委員名	備考
座長	日本大学理工学部教授	岸井 隆幸	
委員	東京大学工学系研究科教授	羽藤 英二	
委員	千葉大学大学院工学研究科教授	村木 美貴	
委員	首都大学東京大学院都市環境科学研究科教授	清水 哲夫	
委員	東京都政策企画局技術政策担当部長	加藤 直宣	
委員	東京都青少年・治安対策本部治安対策担当部長	村山 隆	
委員	東京都都市整備局企画担当部長	荒井 俊之	
委員	東京都都市整備局都市づくり政策部長	上野 雄一	
委員	東京都都市整備局都市基盤部長	中島 高志	
委員	東京都都市整備局交通政策担当部長	堀 真	
委員	東京都環境局都市エネルギー推進担当部長	小川 謙司	代理
委員	東京都福祉保健局企画担当部長	後藤 啓志	
委員	東京都産業労働局観光部長	坂本 雅彦	代理
委員	東京都建設局道路管理部長	今村 篤夫	
委員	東京都建設局道路保全担当部長	川合 康文	
委員	東京都建設局河川部長	三浦 隆	
委員	東京都港湾局企画担当部長	中村 昌明	代理
委員	東京都交通局企画担当部長	根木 義則	
委員	警視庁交通部交通規制課長	柳澤 幸弘	
委員	警視庁交通部交通規制課長	塚本 雅人	
委員	中央区都市整備部長	田村 嘉一	
委員	八王子市都市計画部長	駒沢 広行	代理
委員	東日本旅客鉄道株式会社総合企画本部投資計画部担当部長	杉村 晶生	代理
委員	東京地下鉄株式会社鉄道本部鉄道統括部長	米 彰	
委員	一般社団法人日本民営鉄道協会運輸調整部長	滝澤 広明	
委員	一般社団法人東京バス協会常務理事	二井田春喜	
委員	公益財団法人東京タクシーセンター指導部長	増田 祐一	
オブザーバー	国土交通省鉄道局都市鉄道政策課駅機能高度化推進室長	金子 修久	
オブザーバー	国土交通省都市局街路交通施設課街路事業調整官	服部 卓也	